

しずおか市町対抗駅伝 出場選手・スタッフ募集!!

○出場選手(代表候補選手)募集

とき・ところ／

●練習説明会 6月18日(木)19:30～

あやめ会館3階多目的ホール

※候補選手に申し込んだ人は、必ず出席してください。(代理出席でも可)

●練習会 7月2日(木)19:30～(週1回程度)

葦山運動公園多目的広場

●しずおか市町対抗駅伝 12月5日(土)

静岡市内

対象／市内在住・在学・在勤の小学5年生以上の人

申込／住所、氏名(ふりがな)、連絡先、年齢(学年)、性別、職業(学校名)を明記のうえ、FAXで申し込みください。

※書式は自由。自薦・他薦は問いません。

※FAX送信後、確認のため電話をしてください。

その他／代表候補選手の中から、10月中旬までに出場選手21人を選考します。詳しくは、直接問い合わせください。

○スタッフ(ボランティア)募集

内容／練習会補助(整備、タイム測定ほか)、大会当日の付添いなど

対象／21歳以上の市民 若干名

申込／5月29日(金)17:00までに電話またはFAXで申し込みください。

その他／詳しくは、申込締切後にお知らせします。



☎ スポーツ振興課

☎ 055-948-1460 FAX 055-948-2926

ホストタウンの取り組みについて

☎ スポーツ振興課 ☎ 055-948-1460

市では、モンゴル国ソングノハイルハン区との友好都市の交流をきっかけとして、平成27年(2015)8月にモンゴル国と東京2020オリンピック・パラリンピック柔道競技の事前キャンプに関する覚書を締結。あわせて国が推進するホストタウン登録を行い、モンゴル国のホストタウンとなりました。

①モンゴル国柔道ナショナルチームとの交流

モンゴル国柔道ナショナルチームは、市で強化合宿を行うほか、市内で行われる少年柔道錬成大会への参加や学校訪問などを実施しています。

少年柔道錬成大会では、県内外から小中学生が参加し、モンゴル国柔道アカデミー小学生を含めた大会が行われています。モンゴル国柔道ナショナルチームと大会に出場する小学生が乱取り稽古を行い、小学生が大きい代表選手を相手に技をかけるなど、貴重な機会となっています。

また学校訪問では、長岡中学校を訪問し、バレーボールを通じたスポーツ交流や給食を共にし友好を深めています。

②モンゴル柔道アカデミー小学生

モンゴル柔道アカデミー小学生は、少年柔道錬成大会に出場するほか、市内柔道スポーツ少年団と一緒に稽古をしており、お互い全力で取り組み、切磋琢磨しています。

また、学校訪問も行い、市内の小中学生と授業や給食を共にし、友好を深めています。授業については、2019年度は大仁小学校を訪問し、プログラミングと体育の授業を受け、体育では縄跳びと跳び箱に挑戦し、大仁小学校の生徒が飛び方のコツをアドバイスしていました。



連載 ジャルガルのほのぼの日記

第26回
モンゴルの現状と
オンライン時代



皆さん、サエンバエノー。新緑の季節、山や森の緑がみずみずしく感じる中、いつもとは違うゴールデンウィークになりそうですね。私はできるだけポジティブに考えて、この時期こそ成長するチャンスと、自分と子どもたちに言い聞かせています。わが家では、最近は規則正しい生活とまでは言えませんが、優しい人々と美しい自然に恵まれたことに感謝をしながら3つの「密」を避けて頑張っています。家の中は普段と違って毎日、工作工房、想像の温水プール、小さな食堂、パン屋、時としてミニシアターやダンススタジオに。心配ですが、たまに教室になっています。

モンゴルの国土は156万4千709.6km²、ロシアと3543kmの国境で接しています。人口はおよそ320万人で、約半数は首都ウランバートルに集中しているため、中国で感染が拡大しはじめた1月末に、新型コロナウイルスの侵入を防ぐため、隣国である中国との国境を閉鎖して車や人の往来を禁止した状況が続いています。また、教育機関は休校とし、公開イベントは延期されるなど早い段階で対策を取ったことでモンゴル国内では市中感染の発生はなく、現在(4月20日)31人の感染者はいずれも海外からの「輸入症例」で、現在治療を受けています。一人ひとりが責任をもって自己管理をしているように感じます。休校となった直後、モンゴル国営放送局や教育・文化・科学・スポーツ省のホームページでオンラ



首都ウランバートル

イン授業を行っているため、日本にいる子どもたちにも同年代の友達とモンゴル語を含めて勉強できる良い環境を得られています。4月2日は「国際子どもの本の日」であることから、モンゴル国立中央図書館や教育情報サイトなどで本の紹介や読み聞かせなどを行っており、ワーキングマザーたちから高く評価されているようです。この日、モンゴルでは、毎年さまざまなイベントを実施してきましたが、今年は学校は休校となり、友達にも会えない子どもたちには本を読む喜びや楽しさを伝えるためにオンラインで

活動を実施しています。私も久しぶりに童話作家アンデルセンの「みにくいアヒルの子」や「雪の女王」など数々の作品を子どもたちと一緒に聞きました。今年、小学2年生の道徳の教科書に、伊豆の国市とソングノハイルハン区との交流の一環として、モンゴル料理が学校給食のメニューとなることが取り上げられ、全国の子どもたちに紹介されています。未来は輝いています。皆さん、前向きに毎日笑顔で乗り越えましょう。

☎ 市長公室
☎ 055(948)1431

第5回 モンゴル語クイズ答え

- モリンホール → 馬頭琴
- ヤタガ → モンゴルの琴
- ツォール → 縦笛